

ひょうたいけ

桜台小 学校だより
令和4年12月16日
第48号



登校指導、お世話になっています。

12月12日(月)、朝の登校指導があり、「桜台小学校見守り会」や「PTA地区委員」の皆様、子どもたちの登校を見守っていただきました。今回も、紙面を借りていくつか紹介をさせていただきます。

- 通りかかった桜中の児童が、こちらから声をかける前にあいさつをしてくれました。桜台小の児童にもそんな中学生になってほしいと思いました。
- 班長さんが横断歩道を渡る際に、後ろを向いて「手をあげて」と下級生に声をかけて渡っていていいなあと思いました。また、歩道を歩いている際に何度も後ろを向いて確認していてすごいなあと思いました。
- きちんと整列し、手をあげ、横断歩道を渡れていました。あいさつもしっかりとできていました。
- 寒くなってきたためか、ポケットに手を入れて歩く子が何人かいました。寒さで手を入れている場合は、手袋を使ってほしいと思いました。
- 集合時刻の5分ぐらい前に来ている子がいますが、10分弱遅れてくる子もいて、早く来る子は15分弱待っています。寒いし、車も通る場所なので、みんなが時間を守って集まれるように確認をし合ってほしいです。
- 「おはよう」「行ってらっしゃい」と声をかけて、一応あいさつはしてくれますが、元気が足りません。
- 月曜日(休み明け)だったからなのか、あいさつの声が小さいように感じました。
- 登校の列が広がっていたので注意をしました。下を向いて歩いている子が多かったです。
- 人数の少ない班がいくつもありました。体調不良時の登校班への欠席の連絡方法はどのようになっているのか気になりました。



現在の自分たちの登校班はどんな感じでしょう。「あいさつはできていますか?」「横断歩道で手をあげていますか?」「交差点や横断歩道を渡るときに、左右の安全確認はできていますか?」

「桜台小学校見守り会」や「PTA地区委員」の皆様が、交通事故にあわず安全に登校できるように、毎朝子どもたちの登校を見守ってくれています。『ありがとう』という感謝の気持ちを持つとともに、今一度、自分たちの登校の状況を振り返り、より良い方向に改善して欲しいと思います。

感染症拡大予防への対策(給食時のおぼん対応)

四日市市内では、新型コロナウイルス感染症の陽性者の増加傾向が続いています。本校においても、最近の寒暖差によるものなのか風邪の症状や発熱で欠席をする児童が増えてきました。欠席が顕著に増えてきた学級については、現在2つの教室に分かれて給食を取るため、給食の時間はおぼん対応を行っています。朝の子どもたちの健康状態を見て、緊急対応をとる場合がありますので、お知りおきください。なお、新型コロナウイルス感染症の療養期間や待機期間は以下の通りとなっています。ご参考にしてください。

- 陽性者(有症状)⇒発症日(症状が出現した日)を0日として7日間
 - 陽性者(無症状)⇒検体採取日を0日として7日間
 - 濃厚接触者⇒陽性者との最終接触日(感染対策開始日)を0日として5日間
- ※四日市市ホームページ「新型コロナウイルス感染症関連情報」を参照



冬季休業中のタブレット端末の持ち帰りについて

四日市市は、ICTに関連する取組の全体像を「四日市市GIGAスクール構想」として進めています。今年度は普及期として、学習者用タブレット端末については、①子どもたちがタブレット端末を文房具のように使用する ②家庭への持ち帰りを常態化し、途切れのない学びを実現する ③子どもたちが自ら選択し、個別最適な学びの第1歩とする といった3つの段階が示され、「一人1台端末の日常化」が方向性としてあげられています。



本校では、昨年度から、校内の職員打合せ等において、授業におけるタブレット端末を活用した実践例の情報交換を行い、子どもたちの学びが深められるように取り組んでいます。冬季休業中には、タブレット端末の家庭への持ち帰りを実施し、学習ソフト(ドリルパーク)等を使った学習を進めていきます。

家庭のインターネットにタブレット端末を接続していただくため、使用については、ご家庭でも子どもと話し合いをしていただき、有効な活用ができるように適切な管理・運用をお願いします。 (文責 北住 昌文)